

方小だより
令和7年度
校長室



笑顔いっぱい



第128回卒業証書授与式

3月12日(木)、令和7年度方上小学校第128回卒業証書授与式を挙りました。7名のご来賓、保護者の皆様、在校生代表の5年生、教職員の見守る中、6年生は立派に巣立っていきました。卒業式当日、6年生は、中学校の制服に身を包み、急に大人びて見えました。練習を重ねるたびに所作がスムーズになり、堂々とできるようになっていましたが、当日は、今まで最高のできばえでした。自分にできる力をしっかり出して、式に臨み、心に残る卒業式になりました。

卒業式の中の式辞で、私は、次のような話をしました。

～6年生が入学した頃は、新型コロナウイルス感染症が発生し、生活が一変した年でした。入学式の次の日から学校は臨時休業となり、5月下旬になって地区ごとの分散登校が始まりました。通常通りの登校が始まったのは、入学式の2か月後、6月8日でした。コロナ禍の生活は、学校の中でも様々な制限がありました。歌うこと、友達と手をつなぐこと、ペアやグループで話し合うこと、おしゃべりしながら給食を食べることなど、それまで当たり前できていたことができなくなってしまいました。思ったことや感じたことを素直にありのままに表現したい低学年の時期を、我慢や制限を受けながら過ごしてきたのです。しかし、6年生は、小学校生活の後半で、思いっきり力いっぱい表現し、楽しみ、まわりの人にも大きなパワーをくれました。特に、6年生での運動会、徳島県学校ダンス発表会、150周年お祝い会などで、素敵な魅力を発揮してくれました。

6年生の皆さんの名前には、家族の人たちの祈りが込められています。生まれてから今まで、そして、これからもずっと元気でいてほしい、幸せになってほしいという願いが込められています。それは、とりにいる友達も、これから出会う全ての人も同じことです。人をからかって笑ったり、心を傷つけたりすることなく、自分もまわりの人も大切にできる中学生になってください。「気付き、考え、行動する」ことを今後も忘れず、正しいことを進んで実行し、校訓である「敬愛信」、敬い、愛し、信じる心を大切にできる中学生になってくれることを祈っています。～

今日から6年生の教室は、空っぽになっていて、とてもさみしいです。しかし、1年生から5年生までの皆さんが、6年生からのバトンを受け取り、26名の皆さんの後に続き、方上小学校の伝統を引き継いでくれるでしょう。ご卒業、おめでとうございます。中学校での活躍を楽しみにしています。

6年生の保護者の皆様におかれましては、運動会や方小まつり、愛校作業など、子供たちのために様々な活動にご尽力いただきました。6年間、長きに亘り、学校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。



